

平成29年度自主的点検実施地区一覧表

(1) 国有林直轄治山事業

中部森林管理局

整理 番号	都道 府県	事業実施主体	事業名	事業実施地区名	総事業費 (千円)	総便益 B (千円)	総費用 C (千円)	分析結果 B/C	チェックリスト										備考								
									I 必須事項					II 優先配慮事項													
									1	2	3	4	5	1 有効性	2 効率性	3 事業の実施環境等											
																(1)	(2)	(3)		(4)	(5)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	
1	長野	中信森林管理署	復旧治山	中白沢	235,000	449,684	218,007	2.06	○	○	○	○	○	○	A	A	B	A	A	A	B	A	B	B			
2	長野	中信森林管理署	復旧治山	玄文沢	175,000	373,787	155,814	2.40	○	○	○	○	○	○	A	A	A	A	A	A	B	A	B	A	B		
3	長野	東信森林管理署	地域防災対策総合治山	千ヶ滝西沢	235,200	3,020,981	213,742	14.13	○	○	○	○	○	○	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	
4	長野	木曾森林管理署	復旧治山	肥沢	317,000	425,779	277,015	1.54	○	○	○	○	○	○	A	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	B	
5	長野	木曾森林管理署	復旧治山 (特定流域総合治山対策)	濃ヶ池	343,350	1,293,233	294,276	4.39	○	○	○	○	○	○	A	A	B	A	B	A	A	A	A	A	A	A	B
6	長野	木曾森林管理署 南木曾支所	復旧治山	長通川	201,544	718,677	169,617	4.24	○	○	○	○	○	○	A	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B
7	長野	伊那谷総合治山事業所	復旧治山	畑沢	312,549	418,479	276,030	1.52	○	○	○	○	○	○	A	A	B	A	B	A	A	A	A	A	A	B	B
8	愛知	愛知森林管理事務所	復旧治山	豊橋(梅田川支流)	79,000	146,120	71,588	2.04	○	○	○	○	○	○	A	A	B	A	B	A	A	A	A	A	A	B	B
9	長野	南信森林管理署	保安林整備	伊那谷	217,925	423,201	194,032	2.18	○	○	○	○	○	○	-	A	B	A	-	A	-	B	A	B	A	A	C
10	岐阜	東濃森林管理署	保安林整備	木曾川	91,554	223,923	81,515	2.75	○	○	○	○	○	○	-	A	B	A	-	A	-	B	A	B	A	A	C
11	愛知	愛知森林管理事務所	保安林整備	東三河	101,232	244,132	90,133	2.71	○	○	○	○	○	○	-	A	B	A	-	A	-	B	A	B	A	A	C

地区概要表

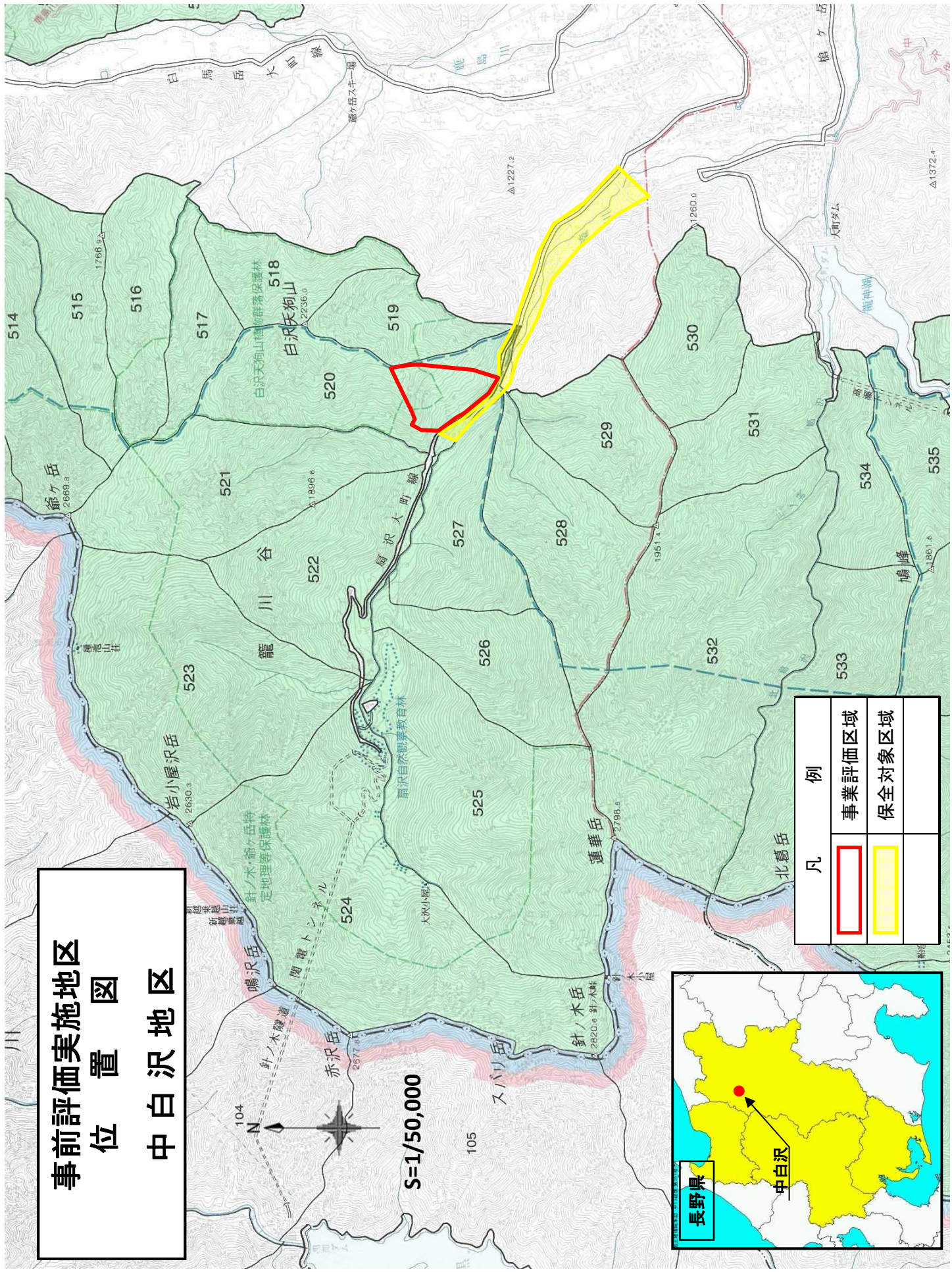
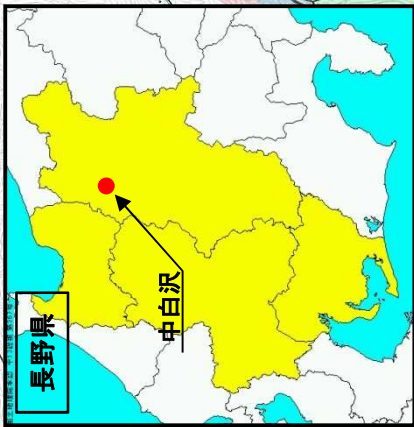
事業名	復旧治山事業	事業計画期間	平成30年度～平成33年度	事業実施地区名 (都道府県名)	中白沢(なかしらさわ) (長野県)
事業目的	当該地区は、長野県大町市の北西部に位置している。平成28年8月の集中豪雨により拡大崩壊が発生し、土石流となって流下したため、直下の県道扇沢大町線が被災し、一時通行止めとなった。被災後、災害関連緊急事業により緊急対策工事を実施したが、現在も一部崩壊土砂が残留していることから、豪雨時には県道等への土砂等流下が懸念される。このことから、不安定土砂等の流出防止及び流路固定を図るための治山施設を整備し、下流域の保全及び保安林機能の増進に寄与することを目的に本事業を実施する。				
主な事業内容	溪間工5基 山腹工0.21ha				
主な保全対象	人家等4戸、県道500m、橋梁1箇所、水道施設1箇所				
総事業費	235,000 千円				
位置図	別紙 位置図のとおり				

事前評価実施地区 位置図 中白沢地区

S=1/50,000

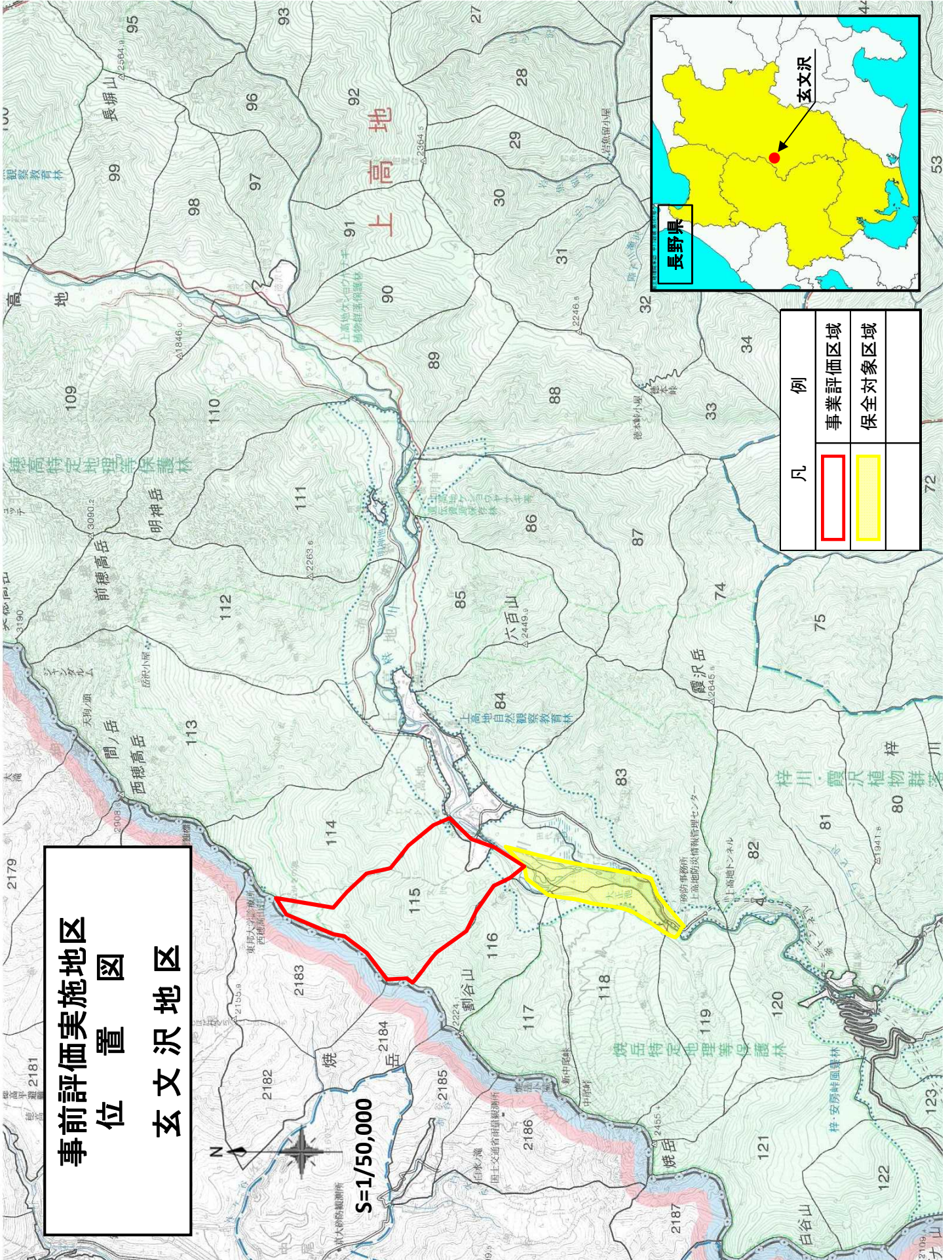


凡	例
	事業評価区域
	保全対象区域



地区概要表

事業名	復旧治山事業	事業計画期間	平成30年度～平成34年度	事業実施地区名 (都道府県名)	玄文沢(げんぶんざわ) (長野県)
事業目的	当該地区は、長野県松本市西部の上高地に位置している。平成18年7月の集中豪雨に伴う土石流によってヘリポートや上高地浄化センターが被災した。大正池付近の湿地帯には、現在も不安定土砂が残留しており、焼岳山麓からの土砂生産は留まることがないため、豪雨時には被災施設等の再度災害発生や県道等の保全対象への被害が懸念される。このことから、不安定土砂等の流出防止及び流路固定を図るための治山施設を整備し、下流域の保全及び保安林機能の増進に寄与することを目的に本事業を実施する。				
主な事業内容	溪間工7基、護岸工112m				
主な保全対象	県道300m、林道500m、橋梁1箇所、宿泊施設1箇所外				
総事業費	175,000千円				
位置図	別紙 位置図のとおり				



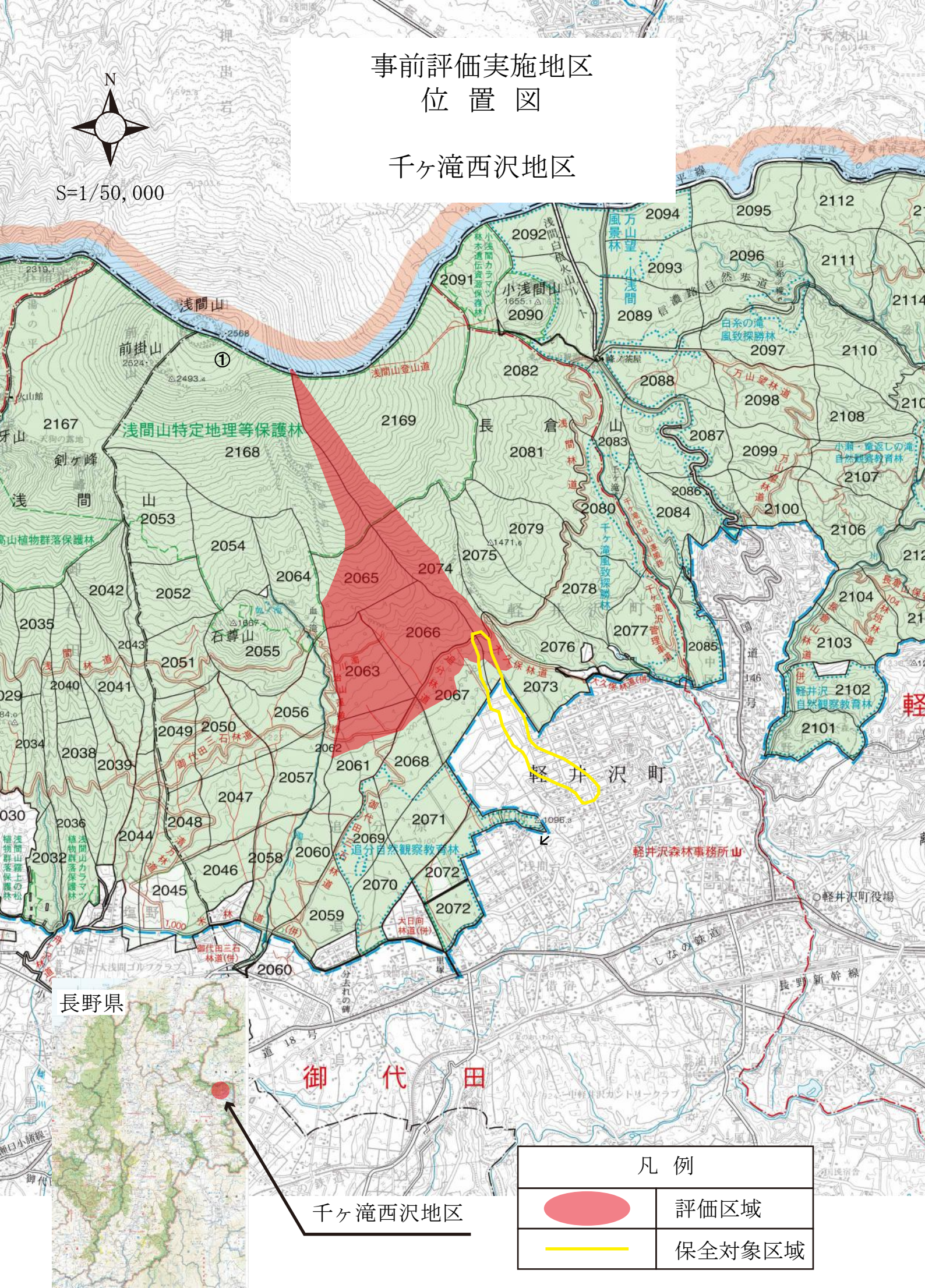
地区概要表

事業名	地域防災対策総合治山事業	事業計画期間	平成30年度～33年度	事業実施地区名 (都道府県名)	千ヶ滝西沢(せんがたぎにしざわ) (長野県)
事業目的	当該地区は、長野県北佐久郡軽井沢町の浅間山南東斜面に位置している。浅間山は現在、噴火警戒レベルが2であり、積雪期の噴火による融雪型火山泥流被害が懸念されており、国・県・市町村等が相互に連携・協力し、被害軽減に向けたハード・ソフト対策を進めているところである。そのため、治山施設を整備することにより、融雪型火山泥流の一部を抑制し、流送エネルギーの軽減を図るとともに、上流からの土砂等流出を抑制し、周辺森林と下流の保全を図り、地域の安全性向上(減災)に資することを目的に本事業を実施する。				
主な事業内容	溪間工 1基				
主な保全対象	人家113戸、林道170m				
総事業費	235,200千円				
位置図	別紙 位置図のとおり				

事前評価実施地区 位置図

千ヶ滝西沢地区

S=1/50,000



凡例

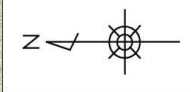
	評価区域
	保全対象区域

千ヶ滝西沢地区


地区概要表

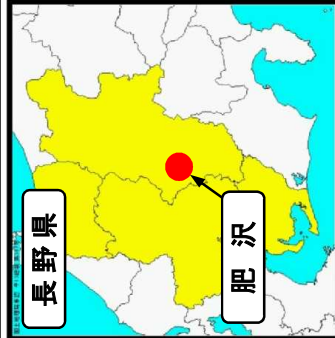
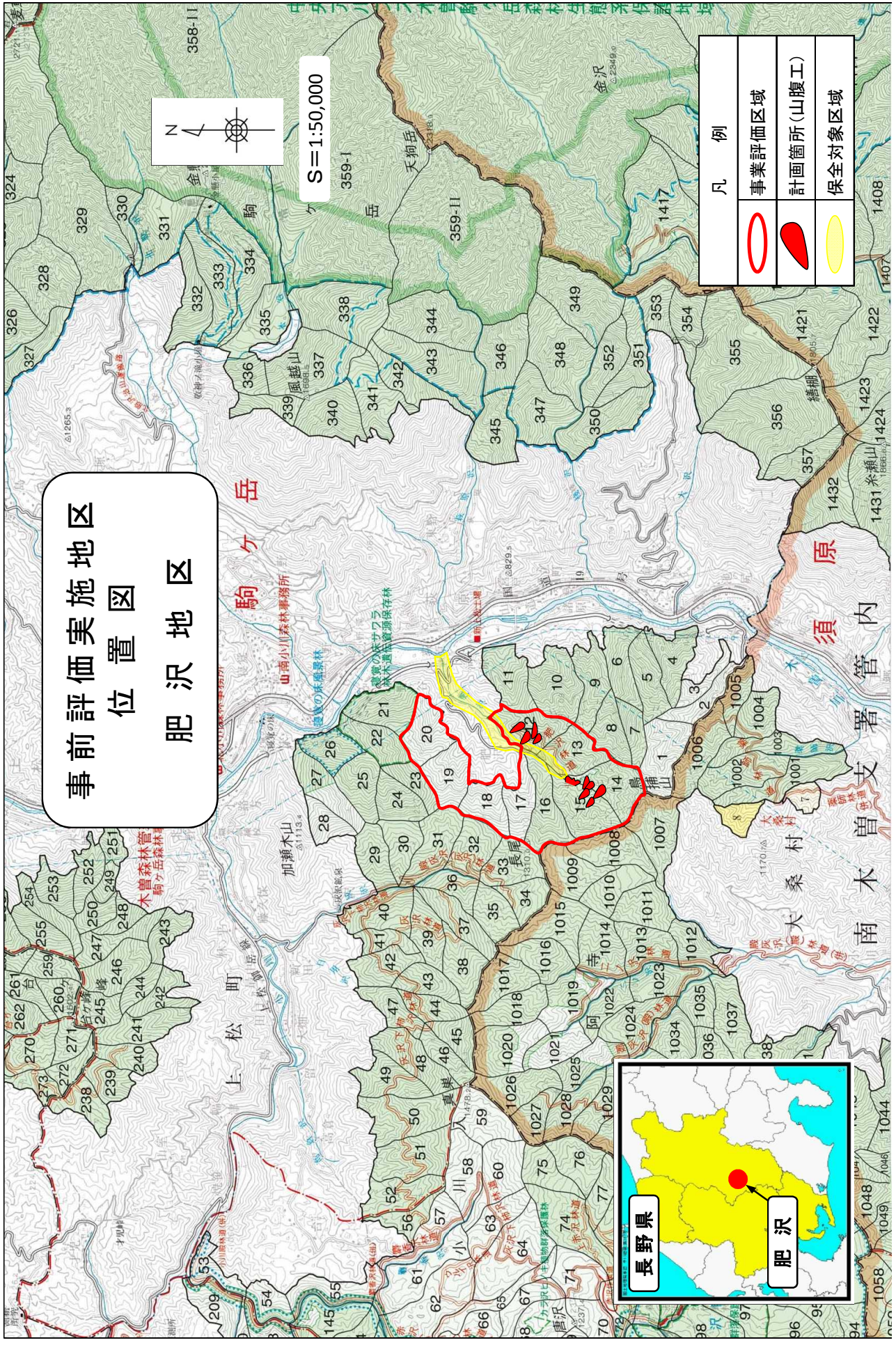
事業名	復旧治山事業	事業計画期間	平成30年度～平成35年度	事業実施地区名 (都道府県名)	肥沢(ひざわ) (長野県)
事業目的	当該地区は、長野県木曾郡上松町の木曾川右岸に位置している。過去の集中豪雨により上流域で山腹崩壊が発生し土砂等が流出したため、河道閉塞や林道が通行不能となる被害が生じた。現在も上流域の崩壊地では表層侵食による土砂生産が進行しており、崩壊土砂が既設溪間工に残留していることから、豪雨時には集落等へ土砂等の流下が懸念される。このことから、拡大崩壊による土砂生産の抑止を図るための治山施設を整備し、下流域の保全及び保安林機能の増進に寄与することを目的に本事業を実施する。				
主な事業内容	山腹工 1.29ha				
主な保全対象	人家6戸、市町村道350m、林道700m、橋梁1箇所外				
総事業費	317,000 千円				
位置図	別紙 位置図のとおり				

事前評価実施地区 位置図 肥沢地区



S=1:50,000

凡 例	
	事業評価区域
	計画箇所(山腹工)
	保全対象区域



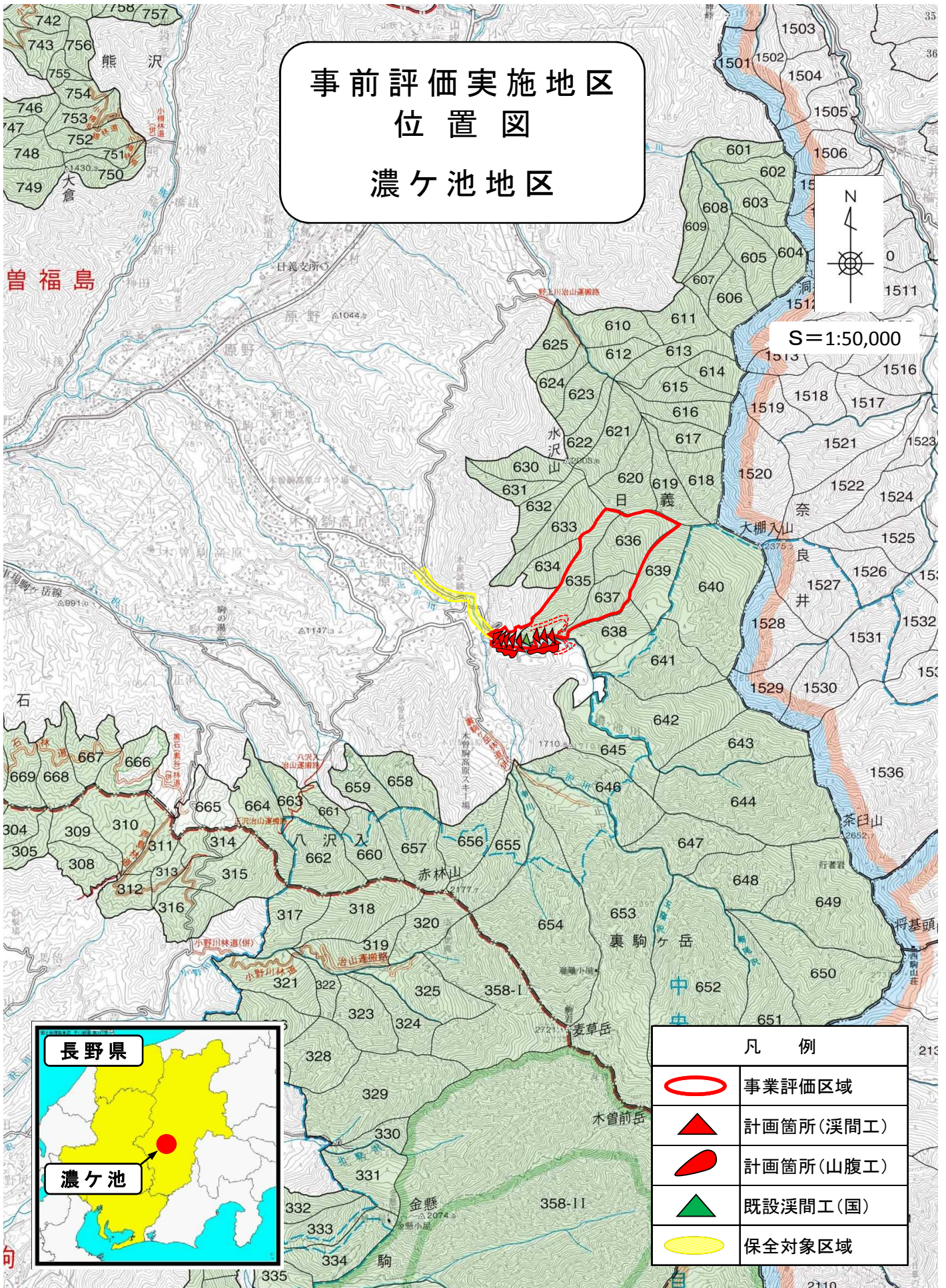
長野県

肥沢

地区概要表




事業名	復旧治山事業 (特定流域総合治山対策)	事業計画期間	平成30年度～平成36年度	事業実施地区名 (都道府県名)	濃ヶ池(のうがいけ) (長野県)
事業目的	当該地区は、長野県木曾郡木曾町の木曾川左岸に位置している。平成25年9月の台風18号豪雨に伴い土石流が発生し、水産試験場の取水施設等が被害を受けた。現在も上流には渓岸崩壊がみられ、溪流には残留土砂や流木が複雑に重なり合っており、今後の豪雨等による拡大崩壊や土砂等の流出が懸念されることから、国有林と民有林が連携し一体的な復旧対策を行う必要がある。土砂等の固定や流出を抑制するために治山施設を整備し、下流域の保全及び保安林機能の増進を図ることを目的に本事業を実施する。				
主な事業内容	溪間工 8基、護岸工 4基、山腹工 0.56ha				
主な保全対象	人家46戸、町道1.400m、林道200m、県水産試験場				
総事業費	343,350 千円				
位置図	別紙 位置図のとおり				

事前評価実施地区
位置図
濃ヶ池地区



S=1:50,000



凡 例	
	事業評価区域
	計画箇所(溪間工)
	計画箇所(山腹工)
	既設溪間工(国)
	保全対象区域



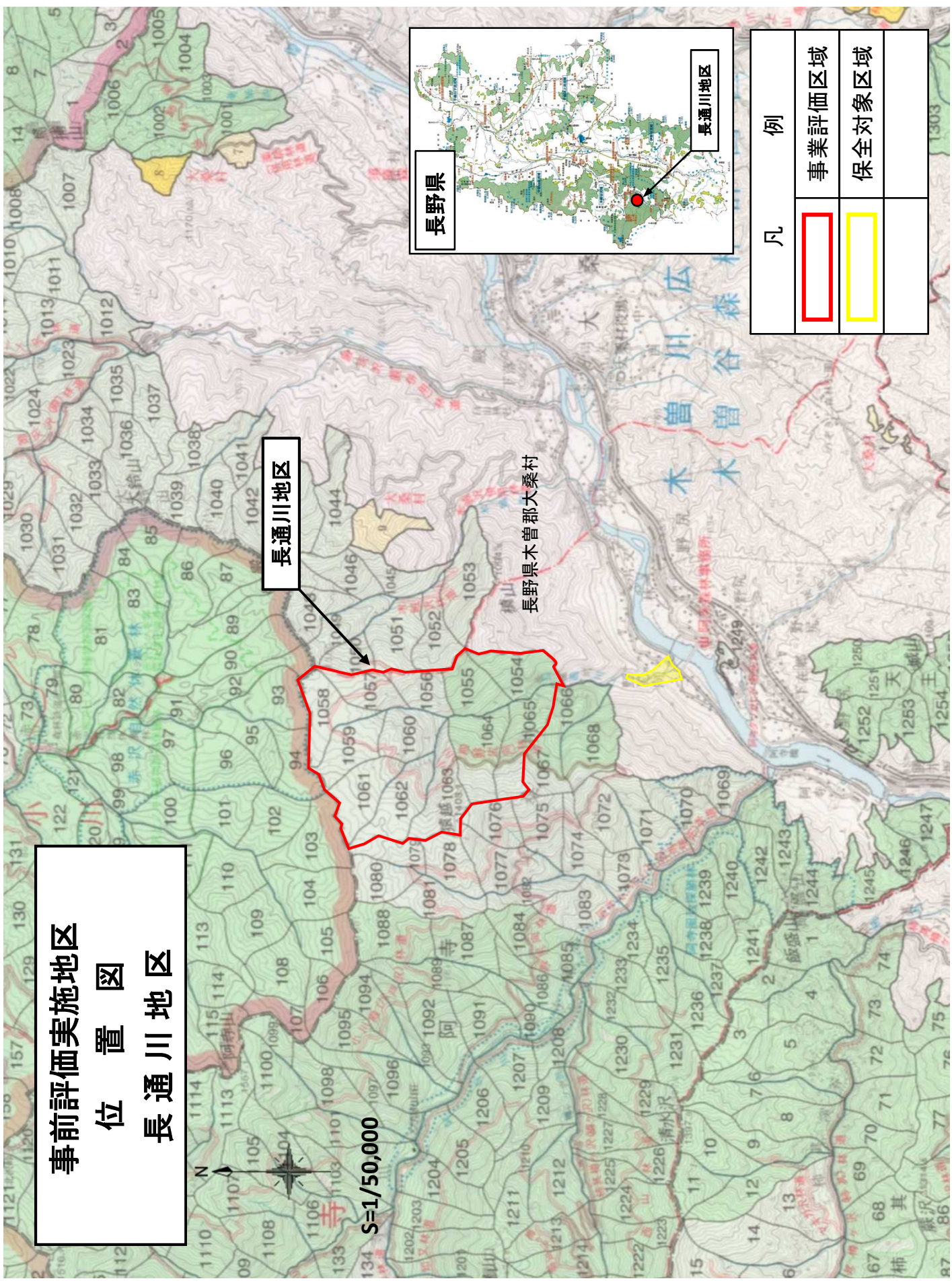
長野県

濃ヶ池

地区概要表

事業名	復旧治山事業	事業計画期間	平成30年度～平成37年度	事業実施地区名 (都道府県名)	長通川(ながとおりがわ) (長野県)
事業目的	当該地区は、長野県木曾郡大桑村の木曾川右岸に位置している。凍結融解によって柱状節理が発達した地質であり、上流域には山腹崩壊地が多く存在し、現在も拡大崩壊による土砂生産が続いており、溪流には岩屑の混入した異常堆積帯が随所に見られるため、豪雨時には、直下の集落へ土砂等の移動流下が懸念される。このことから、崩壊地の早期復旧と併せ不安定土砂等の流出防止及び山脚固定を図るために治山施設を整備し、下流域の保全及び保安林機能の増進に寄与することを目的に本事業を実施する。				
主な事業内容	溪間工4基、山腹工0.86ha				
主な保全対象	人家21戸、公民館1棟、村道700m、橋梁1箇所				
総事業費	201,544 千円				
位置図	別紙 位置図のとおり				

事前評価実施地区
位置図
長通川地区



N

S=1/50,000

長通川地区

長野県木曾郡大桑村

長野県

木曾川

飯盛山

凡例

事業評価区域

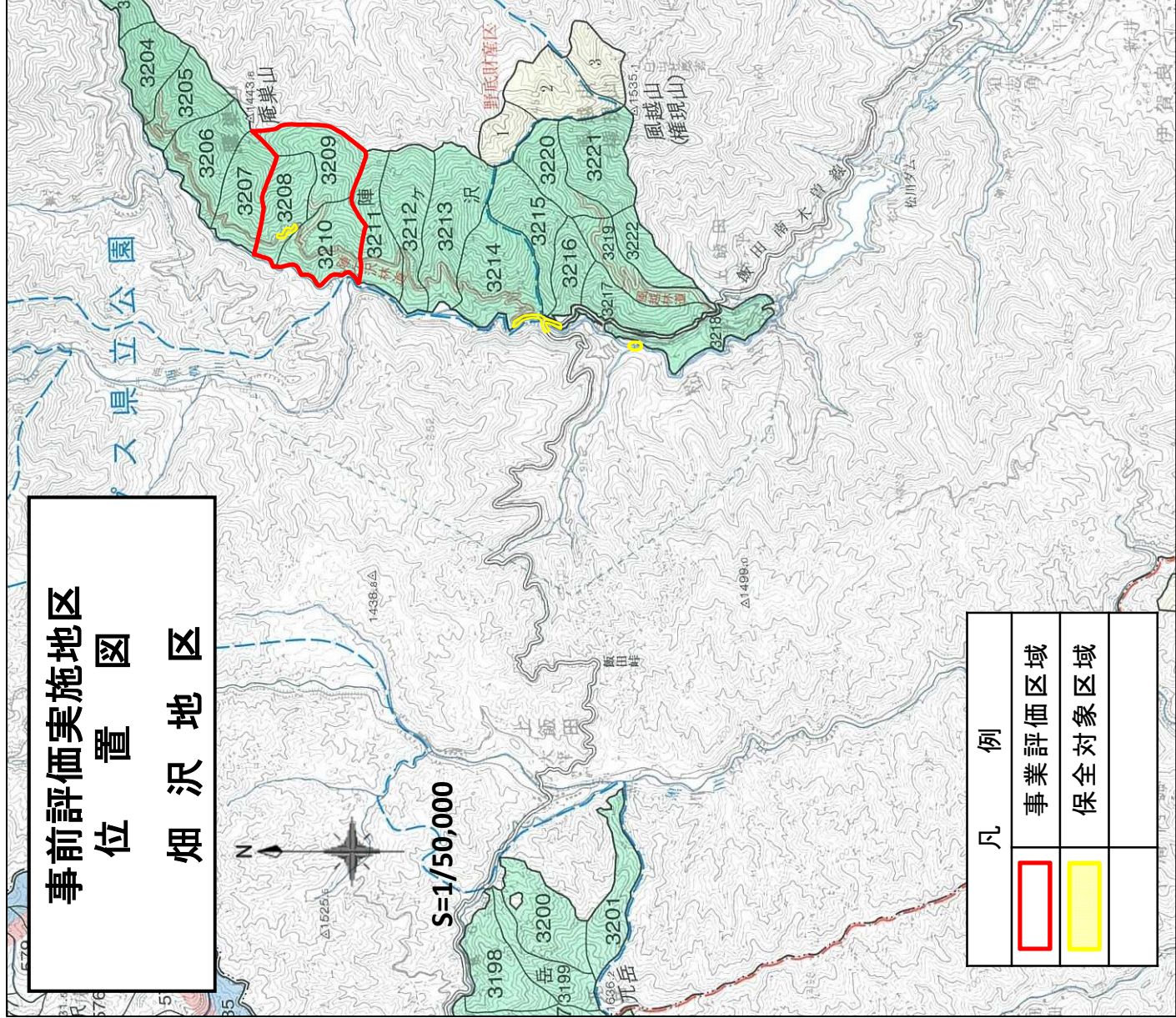
保全対象区域




地区概要表

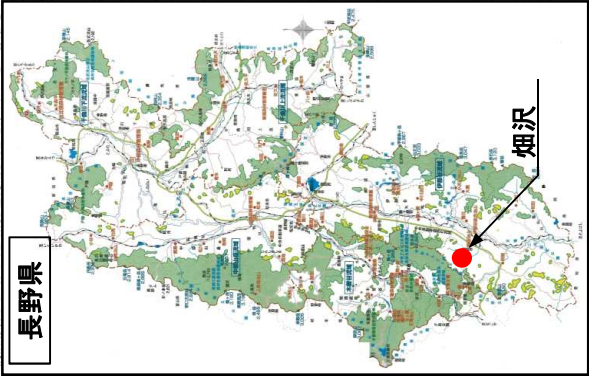
事業名	復旧治山事業	事業計画期間	平成30年度～平成35年度	事業実施地区名 (都道府県名)	畑沢(はたさわ) (長野県)
事業目的	当該地区は、長野県飯田市の西部に位置し、一帯は花崗岩類が広く分布しマサ化による表層剥離型崩壊が多く土砂生産が盛んである。平成27年7月の集中豪雨により拡大崩壊が発生したため直下の林道が被災し、現在も既設溪間工には流出土砂が不安定な状態で堆積していることから、今後の豪雨等に伴う土砂流出によって下流の県道等保全対象への被害が懸念される。このことから、渓床の堆積土砂を固定し土砂流出を抑制するとともに、崩壊地の早期復旧を図るための治山施設を整備し、下流域の保全及び保安林機能の増進に寄与することを目的に本事業を実施する。				
主な事業内容	溪間工4基、山腹工0.60ha				
主な保全対象	林道565m、県道785m、橋梁2箇所、発電所施設1箇所				
総事業費	312,549 千円				
位置図	別紙 位置図のとおり				

森林位 伊那谷森林 第3葉(全)



事前評価実施地区
位置図
畑沢地区

凡 例	
	事業評価区域
	保全対象区域

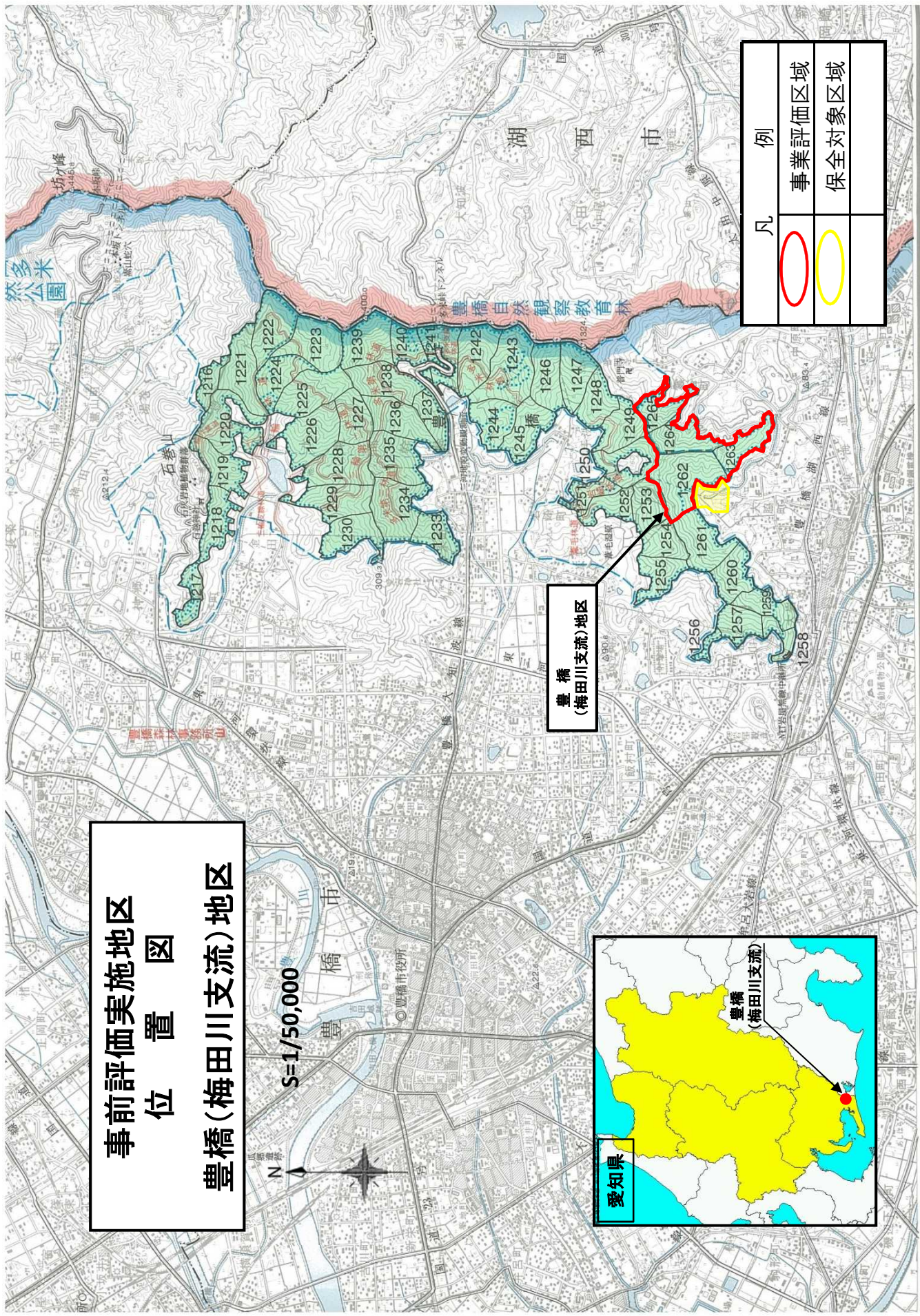


地区概要表

事業名	復旧治山事業	事業計画期間	平成30年度～34年度	事業実施地区名 (都道府県名)	豊橋(梅田川支流)(とよはし(うめたがわしりゅう)) (愛知県)
事業目的	当該地区は、愛知県豊橋市東部の高師原台地の南側斜面に位置している。この斜面には谷による開析を受けて入り組んだ山麓が形成され、多数の小沢がJR東海道本線等が通過する市街地へと流れ込んでおり、緩斜面の扇状地には崖錐堆積物が不安定な状態で散在しているため、豪雨時には、洪水とともに不安定土砂や流木等の移動流下が懸念される。このことから、土砂等の流出防止及び流路固定を図るための治山施設を整備し、下流域の保全及び保安林機能の増進に寄与することを目的に本事業を実施する。				
主な事業内容	溪間工 4基、流路工(帯工含む) 111m				
主な保全対象	宗教法人1箇所、豊川用水東部幹線250m、市道400m、橋梁1箇所				
総事業費	79,000千円				
位置図	別紙 位置図のとおり				

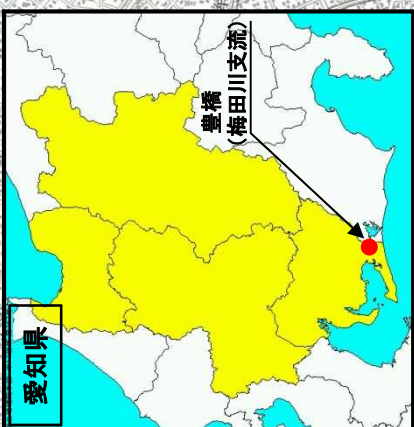
事前評価実施地区
位置図
豊橋(梅田川支流)地区

S=1/50,000



凡例	
	事業評価区域
	保全対象区域

豊橋
(梅田川支流)地区

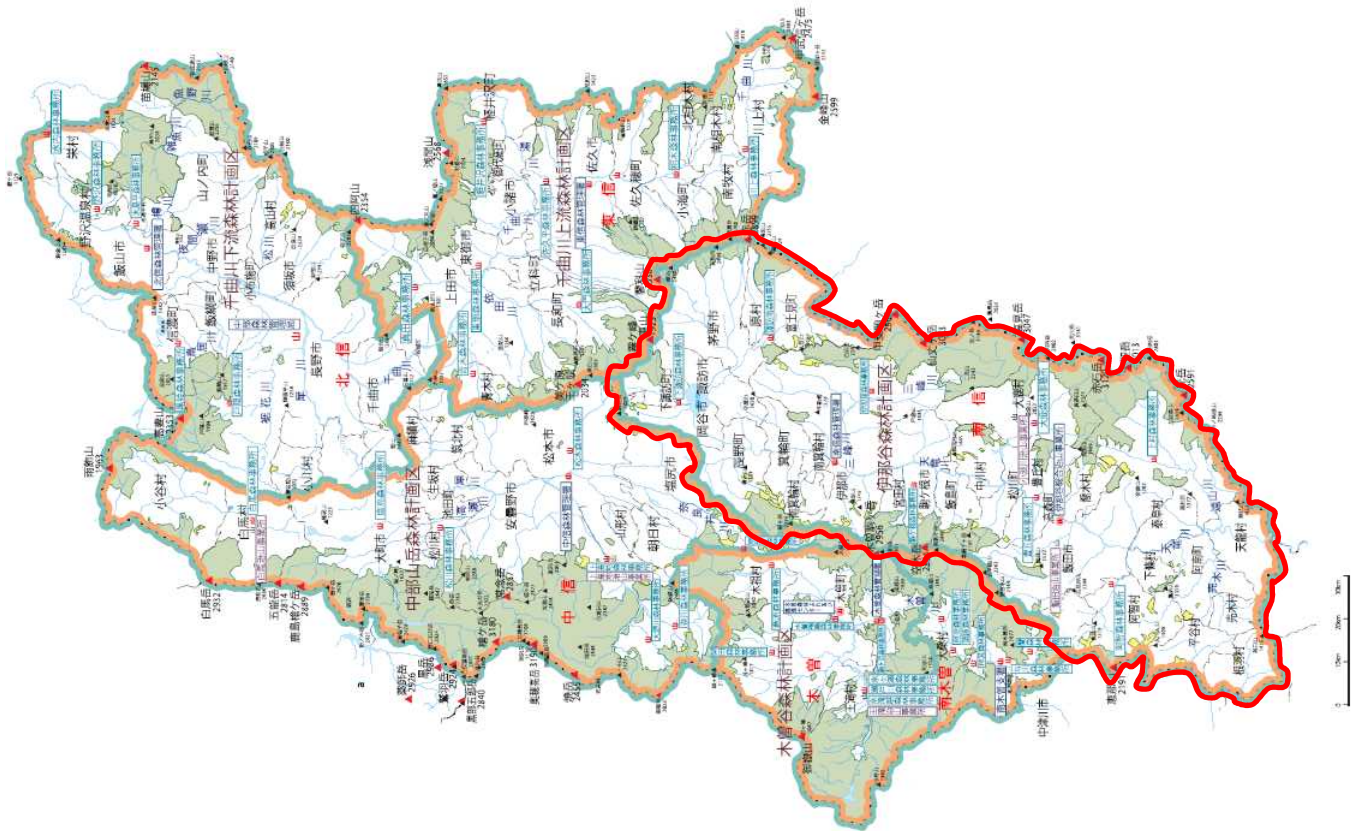



別紙様式9

地区概要表

事業名	保安林整備事業	事業計画期間	平成30年度～34年度	事業実施地区名 (都道府県名)	伊那谷(いなだに) (長野県)
事業目的	<p>当該地区は、長野県南東部の伊那谷地域に位置し、国有林の約96.5%は天竜川流域の源流部に所在している。上流域に分布する国有林は、伊那谷地域はもとより静岡県を含めた天竜川水系の重要な水源地域であるとともに、南・中央アルプスに代表される自然環境の保全形成及び国民の健康休養の場の提供など、公益的機能を発揮する上で重要な役割を果たしている。森林の現況は、カラマツが77%を占める人工林の林齢構成は10～12齢級に集中し、それらは過密状態等により、このまま放置すると表土の層食による崩壊の発生や、土砂及び倒木が流出し、水土保全機能が著しく低下するおそれがある。このことから本数調整伐等の森林整備を行い、水源涵養(かんよう)機能、山地災害防止機能など、保安林が持つ公益的機能の維持、増進を図ることを目的に本事業を実施する。</p>				
主な事業内容	<p>本数調整伐等 816.20 ha</p>				
主な保全対象					
総事業費	<p>217,925 千円</p>				
位置図	<p>別紙 位置図のとおり</p>				

事前評価実施地区 位置図 伊那谷森林計画区



凡例	
	評価区域

地区概要表

事業名	保安林整備事業	事業計画期間	平成30年度～34年度	事業実施地区名 (都道府県名)	木曾川(きそがわ) (岐阜県)
事業目的	<p>当該地区は、岐阜県南東部に位置し、国有林はほとんどが御嶽山から連なる山岳地帯及び恵那山山麓に所在し、中京圏の重要な水源地域となっている。また、東濃谷の産地であるとともに、ヒノキ・サワラを主体とした貴重な天然林を有しており、自然環境の保全形成及び国民の保健休養の場の提供など、公益的機能の発揮の上で重要な役割を果たしている。森林の現況は、ヒノキ・スギを主体とした人工林が45%を占め、林齢構成は10～13齢級に集中し、それらは過密状態等により、このまま放置すると表土の侵食による崩壊の発生や、土砂及び倒木が流出し、水土保全機能が著しく低下するおそれがある。このことから本数調整伐等の森林整備を行い、水源涵養(かんよう)機能、山地災害防止機能など、保安林が持つ公益的機能の維持、増進を図ることを目的に本事業を実施する。</p>				
主な事業内容	本数調整伐等 305.18 ha				
主な保全対象					
総事業費	91,554 千円				
位置図	別紙 位置図のとおり				

別紙様式9

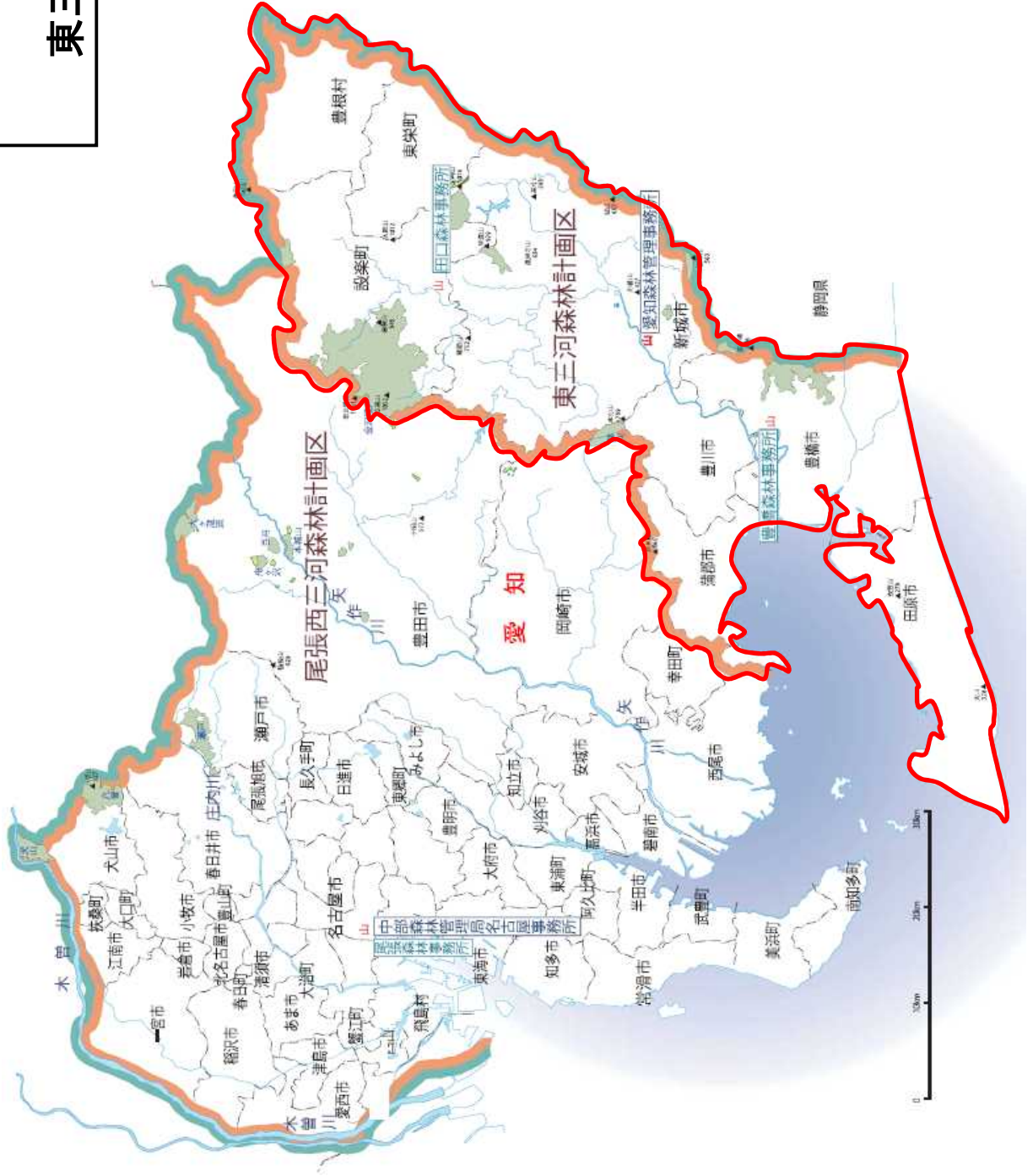
地区概要表

事業名	保安林整備事業	事業計画期間	平成30年度～34年度	事業実施地区名 (都道府県名)	東三河(ひがしみかわ) (愛知県)
事業目的	<p>当該地区は、愛知県東部に位置し、国有林は小団地が散在する形で約8千haが豊川流域源流部の水源地に所在している。段戸山がある流域北部地域は、スギ、ヒノキの人工造林が盛んで「三河材」の主要産地となっているとともに、国有林は自然環境の保全形成及び国民の健康休養の場の提供など、公益的機能を発揮する上で重要な役割を果たしている。森林の現況は、ヒノキ・スギを主体とした人工林が84%を占め、林齢構成は7～11齢級に集中し、それらは過密状態等により、このまま放置すると養分の偏食による崩壊の発生や、土砂及び倒木が流出し、水土保全機能が著しく低下するおそれがある。このことから本数調整伐等の森林整備を行い、水源涵養(かんよう)機能、山地災害防止機能など、保安林が持つ公益的機能の維持、増進を図ることを目的に本事業を実施する。</p>				
主な事業内容	本数調整伐等 373.55 ha				
主な保全対象					
総事業費	101,232 千円				
位置図	別紙 位置図のとおり				

事前評価実施地区

位置図

東三河森林計画区



凡例	評価区域